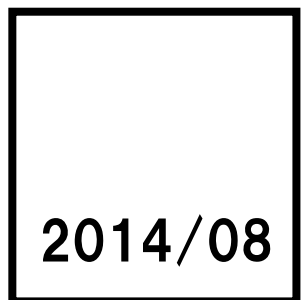




神奈川県立川崎図書館 が所蔵する  
全国有数の〈社史コレクション〉を  
さらに活用していただくため、  
社史の使い方や、社史の楽しさ、  
社史情報などをお届けしていきます。



時折、自社に限らず業界や商品全般の歴史を解説している社史があります。今回は、そうした社史から数冊をピックアップして紹介していきます。

● 『ライオン歯磨八十年史』（1973年刊）は、序章その1「わが国における歯磨の歴史」、序章その2「わが国における歯刷牙の歴史」（注、はぶらし）が掲載されています。歯磨の歴史には、世界各地の古代人が歯にどのような風習を持っていたかに始まり、日本での抜歯やおはぐろの風習、江戸時代以降の歯磨などが説明されています。歯ブラシの歴史では、インドに源

流がある楊枝や、歯ブラシの植毛の型や毛の種類、柄の形態や材質などが図入りで説明されています。

『蛇の目ミシン創業五十年史』（1971年刊）の第1編は「創業前史 ミシン産業の発達」で約150ページの分量です。イギリスとアメリカにおける産業革命と、それぞれの国での裁縫ミシンの発明、ミシン企業の設立などが記されています。

ちなみに、日本に初めて伝わったミシンはペリーが将軍家に献上したものと推察され、天璋院敬子（篤姫）が遊んでいたともいわれています。また、幕末、咸臨丸で

渡米した使節一行はミシンを見て驚き、中浜万次郎（ジョン万次郎）はミシンを買い求めたそうです。

愛知県の『岡田煉瓦100年史』（1997年刊）の第一部は「日本の煉瓦史」。例えば、横須賀製鉄所、神戸外国人居留地、富岡製糸場などで用いられていたレンガや、初期のレンガ製造工場を、刻印などの図版を交えて解説しています。東京にあった小菅集治監では、囚人が製造する煉瓦に、桜の刻印が付けられていました。看守が桜のデザインの胸ボタンをしていた影響ではないかと書かれています。

また、愛知県は窯業が盛んな土地なので、地元の企業の変遷なども取り上げられます。地場産業との関わりや、その歴史をまとめた社史は数多くあります。

# 業界の歴史をまとめた社史。

（裏面に続く）

(表面から続く)

広島県の田中食品による『ふりかけの世界』(2009年刊行)では「Fの博物史」という複数の章を設け、会社の歴史よりもページを割いて、ふりかけをビジュアルに紹介しています。内容は、かつお節やゴマ、ワカメの食材や加工、戦陣食や弁当との関わり、アジアの米食文化圏での食文化など多岐に渡っています。中には、素焼きのほろくを用いて昔ながら方法でのゴマを炒ったり、備前焼のスリバチでゴマをすったりする実験の様子も載っています。

大阪府にあるオリオン株式会社の社史『輝く星座のように』(1999年刊行)の巻末(第四編)は「ヘアーピンさまざま」です。9頁の分量ですが、ヘアーピンの種類や形状、製造の工程や材料などが出ています。

ピンの断面が四角いアメリカンタイプと半円のヨーロッパタイプがあり、日本はアメリカンタイプが主流だそうです。また、欧米では、屋内でも靴をはく生活習慣から、一度落ちたヘアーピンは二度と使用しないため、日本より使用量が多いとか。ご存知でしたか。

以上のように、章として業界や商品全般をまとめた社史だけでなく、各章の中に小さな項目を立てたものや、文章中に織り込んでいるもの、囲み記事での紹介、年表に「業界の動向」という項目を設けたものなど、記載の仕方はさまざまです。

大学教授らに執筆や監修を依頼している場合もあれば、社員らが文献を調べたり、関係者に聞きとりをするなどして、まとめたものもあります。

専門的な技術や、事業の背景などをわかりやすく伝えるために、平易な文章やイラストを用いて解説を付けている社史も目にします。

社史には会社の歴史だけが出ているだけでない、という一つの例になればと思います。一般的な事柄がまとまっている社史を取り上げました。多くの社史では、参考文献や取材協力者・機関名などを記しているのですが、必要があれば、さらなる調査もしやすいと思います。なお、社史だけでなく『〇〇協会〇〇年史』などの業界団体史にも、こうした内容は多く見られます。

(科学情報課・高田)

### 速報！社史ができるまで講演会(13回)

『首都高物語～都市の道路に夢を託した技術者たち～』ができるまで

2014年10月10日(金) 14:30-16:00

首都高開通50年記念として刊行された『首都高物語』の作成経緯や編さんの過程を中心にお話していただきます。首都高の歴史を、技術者の取材を交えて読みやすくまとめた一冊です。講師は編集に携わった首都高速道路株式会社の方です。首都高は東京オリンピック開会式に間に合うように多くの困難を克服して建設されました。当日は東京オリンピック開会式から50年目の記念日にあたります。詳細やお申込み方法は当館ホームページをご覧ください。

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話：044-233-4537 FAX：044-210-1146

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>